



FP CORPORATION

エフピコ: デジタルサプライチェーンを
活用して排出と廃棄物を削減し、
持続可能性目標を達成

削減された炭素排出量
160K MT*

削減された埋立廃棄物量
443K MT*

前年度と比較した炭素排出
削減量の増加率
19%

課題

- 効率的で地球にやさしい方法による迅速で安定した食品流通の実現
- 二酸化炭素排出量の最小化
- 経済的に持続可能な活動としてのセルフリサイクル製品の利用拡大

ソリューション

- aspenONE® Supply Chain Management

創造価値

- 160,000 MT*の炭素排出量を削減 (2019年度実績)
- 443,000MT*の埋立廃棄物量を削減 (2019年度累計実績)
- 2018年度に比べ、炭素排出の削減量が19%増加

*Source: 2020 FPCO Annual Report; all figures are for FY2019; MT equals Metric Tons

エフピコは、日本最大の食品容器メーカーであると同時に、流通サービスプロバイダーとして食品流通関連の店舗（スーパーマーケットなど）に各種製品を納入しています。また、使用済み食品容器やペットボトルのリサイクルを行う環境先進企業でもあります。


エフピコは、毎月10億個以上の容器を販売しており、日本全国に19の製造工場、20の流通センター、および3つのリサイクル工場を擁していますが、固有の課題を抱えていました。

複雑な食品流通プロセスと持続可能性の両立

エフピコは、以前から顧客サービスと顧客の利便性に特に重点を置いており、高品質の食品流通を維持することの重要性を理解していました。その一方で、輸送コストや在庫コストを最適化するために製品の製造工場の立地選定に用いていたプロセスが、きわめて複雑であることも認識していました。エフピコのサプライチェーンマネジメントシステムは、約1万種類の製品の製造をきわめて正確に計画し、製品の適時出荷を確実にものにしていました。しかし、既存の予測、計画、スケジューリング、および流通プロセスは、「持続可能な循環型社会」の実現に向けた同社の取り組みにそぐわないことが、経営陣の目には明らかになっていました。

エフピコは、この目標を達成するために、プロセスの複雑性や固有の廃棄物に対処した方法で、リサイクル製品の販売を経済的に持続可能な活動にする必要がありました。そこで、効率的かつ持続可能で、地球にやさしい方法による迅速で安定した食品流通の実現を促進するために、aspenONE Supply Chain Management (SCM) を選びました。アスペンテックは、長年のパートナーであるタイム・コマース社と協力して、エフピコへのサプライチェーンソリューションの円滑な導入と継続的サポートの提供を確実にしました。

aspenONE Supply Chain Managementにより、エフピコは需要と供給のバランスを保ちながら利益を最大化できるようになったほか、ネットワーク内の全工場の供給能力と関連コストに関する最新情報に素早く簡単にアクセスし、最適な計画を作成することが可能になりました。



“当社の複雑なサプライチェーン要件に対処できたのは、アスペンテックのソリューションだけでした。”

佐藤守正氏

(エフピコ代表取締役社長)



プロアクティブなサプライチェーンリスクマネジメントにより...

流通計画と生産計画の緊密な調整は、効果的なリサイクルの取り組みに必要な経済的実行可能性をエフピコにもたらしました。取り組みの結果、これまでにドラム缶406万本分の石油に相当する443,000 MT*の埋立廃棄物量が削減されました。その目を見張る成果は、地方レベルだけでなく全国レベルでも評価され、3Rエコマークやエコ・ファースト企業の認定をはじめとする数々の賞や認定を受けました。

アスペンテックは、パートナーのタイム・コマース社と協力して、エフピコへのサプライチェーンソリューションの円滑な導入と継続的サポートの提供を確実にしました。

...リサイクルの取り組みの持続可能性と弾力性が向上

エフピコは、販売予測、履歴データ、現場の生産指標や人員指標などの大量のデータに基づいて生産計画と流通計画を作成しています。これらの計画により、不確実な状況に応じて供給を確保しています。従来、サプライチェーンの弾力性は、サプライチェーンデータへのタイムリーなアクセスの欠如によって制限されていました。aspenONE Supply Chain Managementを導入した結果、急ぎの注文や予期しない需要増加、あるいは感染症の全国的流行や自然災害といった重大事象への対応能力が強化され、サプライチェーンリスクにプロアクティブに対処できるようになっています。



数々のビジネス上の恩恵を享受

aspenONE Supply Chain Managementソリューションの長期ユーザーであるエフピコは、持続可能性以外にも恩恵を享受しています。エフピコが毎年享受している経済的なメリットは、かなりの額にのぼります。こうした最適な計画作成の基礎を築き上げたことにより、意思決定の改善につながり、サプライチェーン全体にわたる価値創造が可能になっています。このように、市況や顧客需要の変化や予期しない出来事に包括的に対応する能力を得たエフピコは、食品包装業界におけるリーダーとしての地位を今後何年にもわたって守り続けることを確実にしています。

aspenONE Supply Chain Managementの概要

aspenONE Supply Chain Managementは、実行から戦術計画プランニング、さらには戦略的経営計画に至るまでのあらゆるレベルで、自己最適化プラントをバリューチェーンに接続します。

プロセス産業向けに設計された意思決定支援ツール

- 1. 戦略的製造検討:** 高忠実度モデリング、経済性評価、強力な最適化、およびwhat-ifシナリオ評価を組み合わせることで、戦略的経営計画を新たなレベルに引き上げます。
- 2. 販売・生産計画 (S&OP) / 統合事業計画 (IBP):** サプライチェーン、製造資産、制約、および財務を包括的にモデリングし、最適化された盤石な計画を作成します。
- 3. 販売・オペレーション実行:** スケジューリングの最適化やサプライチェーンとオペレーションの調整により、完璧なオペレーション実行を実現します。

aspenONE Supply Chain Managementソリューションの詳細は、[こちら](#) からご覧いただけます

アスペンテクノロジーについて

Aspen Technology (AspenTech) は、資産最適化ソフトウェアの世界的リーダーです。当社の製品は、資産の設計、運用、保守のライフサイクルを最適化することがきわめて重要となる、複雑な業界環境において成功を収めています。アスペンテックは、数十年にわたって培ったプロセスモデリングの専門知識とAIを独自の方法で組み合わせています。当社の専用ソフトウェアプラットフォームは、資産のライフサイクル全体で高い利益を提供することで、知識労働を自動化し、持続可能な競争上の優位性を築きます。これにより、さまざまな資本集約型業界の企業が、稼働時間を最大化させ、パフォーマンスの限界を押し上げ、より高速かつ安全に、長期にわたり、より環境に配慮した方法で資産を運用できるようになります。

詳細は [AspenTech.com](https://www.aspentech.com) をご覧ください。

